

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年7月18日】第173号



## ノーベル平和賞受賞者ユヌス博士来校

7月11日(火)、ノーベル平和賞受賞者であるM.ユヌス博士が農大稲花小に来校されました。「ノーベル平和賞受賞者 ユヌス博士を囲んで～83歳×11歳 地球のみんなが幸せになるための話し合い～」として、5年生の子どもたちが、ユヌス博士をお迎えして、お話を伺い、また、質疑応答をする機会となりました。これは、特定非営利活動法人アース・アイデンティティー・プロジェクト 代表理事 河原裕子 様のご理解により実現したもので、TBS スパークル 匂坂緑里 様にも多大なご助力をいただきました。

拍手とともにユヌス博士をお迎えし、まずは記念撮影です。ユヌス博士には最前列に立っていただくと考えていたのですが、博士は並んだ子どもたちの中に入ってこられ、子どもたちに囲まれた記念の1枚が撮影されました。

その後、ユヌス博士から3つのゼロ(「二酸化炭素の排出」、「失業」、「貧困」)を無くす世界作りについてのお話を伺いました。子どもたちのもつ、想像力やアイデアを大切にしようという励ましもいただきました。

子どもたちは、事前にユヌス博士やグラミン銀行についてビデオや資料で学習し、博士にお目にかかるのを楽しみにしていただけに、お話を聞く姿勢も大変よく、博士のお話が子どもたちの心の中に染みていくようでした。

子どもたちからは、貸し付けたお金が返されるかどうか、お金は足りるのかなどグラミン銀行に関する質問や、お金がなくても幸せになれるのでは? という貧困や幸福に関する質問など、様々な質問がでましたが、開発途上国だけでなく先進国での例もあげて、一つ一つにわかりやすくお答えいただきました。鋤物を使ってよりよい社会を作りたいという子どもには、エネルギー問題からの幅広い答えのあと、改めて、子どもからの炭鋤で働く人の環境までを考えているという発言に、しっかりと後押しもしていただきました。なお、質疑応答でユヌス博士は、質問する子どもを前に呼び、ご自分の横に座らせて質問に答えてくださいました。子どもたちも英語でしっかりと質問をしていました。

最後に、お礼の気持ちを込め、子どもたちが声を合わせて農大稲花小の校歌である「東京農業大学稲花小学校の歌(作詞:谷川俊太郎・作曲:谷川賢作)」を歌い、ユヌス博士をお見送りしました。

83歳というご高齢、そしてぎっしりと詰まったスケジュールの中で農大稲花小を訪問して下さったユヌス博士です。やさしい語り口や笑顔とともに、お話いただいたことが子どもたちの心の中にしっかりと根づくことなのでしょう。本校の子どもたちは、世界の同世代の子どもたちの中でも、最も恵まれた環境にいるといってもよいのです。この恵まれた環境でしっかりと力をつけ、その力を、自分のためだけでなく、世界の人々や未来の地球のために使えるように育ててほしいと思っています。

## 北海道オホーツクキャンパス宿泊学習に向けて

7月12日(水)、5年生は東京農業大学 北海道オホーツクキャンパスから、生物産業学部学部長の西野康人教授にお出かけいただき、北海道や生物産業学部のご紹介をしていただきました。

北海道の豊かな自然や野生動物についてのお話には、子どもたちの目は輝きます。それだけでなく、北海道では農業、畜産業、漁業が盛んで様々な産物があること、さらに、それらは生産するだけでなく、加工したり流通させたりすることで、私たちの手に届くことなどを、わかりやすく説明してくださいました。そして、この生産、加工、流通について学んだり、研究したりしているのが北方圏農学科、海洋水産学科、食香粧化学科そして自然資源経営学科なのです。

5年生の子どもたちは9月になると、北海道オホーツクキャンパスを3泊4日で訪問し、各学科の先生方には各学科の特色に合わせた体験学習のご指導をお願いすることになっています。西野学部長の授業で、子どもたちの事前学習にも一層力が入り、また、宿泊学習への期待が高まることでしょう。

## 米油を配布

7月10日(月)、11日(火)、1年生の子どもたちは、東京農大の校友(卒業生)のご紹介によりボーソー油脂株式会社からご提供いただいた「米油」の大小2本を持ち帰りました。ボーソー油脂株式会社様には、2019年の本校開学以来、毎年、子どもたちに「米油」のご提供をいただいております。感謝申し上げます。1年生のご家庭でも、「米油」について、その色をしっかりと見て、またその味をじっくりと味わって、学びの機会としていただければと思います。

ボーソー油脂株式会社 : <http://www.boso.co.jp/>

## 世田谷区 区の花 サギソウ

日本に自生する野生ランであるサギソウは、かつては世田谷区でも自生しており、世田谷区の区の花に指定されています。サギソウの保護や栽培をされ、また、東京農業大学グリーンアカデミーでも講師をされている高橋和彦先生から、サギソウの鉢植えをお借りして展示することができました。白く涼し気な花です。暑い毎日、子どもたちにもその姿を楽しんでもらいたいと思っています。



## 富士農場について学ぶ

7月14日(金)、東京農業大学農学部畜産科学科桑山岳人教授に、3年生を対象として富士農場のご紹介をしていただきました。9月に、静岡県富士宮市にある東京農業大学富士農場での学習が予定されており、富士農場や家畜について事前学習をするためです。

朝霧高原に位置する富士農場の季節の移り変わりを動画で見ると、確かに霧の深い場所であることがわかります。また、富士農場で管理されている、ニワトリ、ブタ、ウシは、ペットとは違う家畜ですので、人の役に立つよう、品種改良もされてきたということを学びます。家畜としてのニワトリ、ブタ、ウシの特徴を学び、また、飼育されているニワトリはどのようにしてたくさんの卵を産むのか、三元豚はどのように作出されたのかを教えてくださいなど、興味深い授業となりました。

日帰りの学習となりますが、1 昨年、昨年同様、充実したものになりそうで、今から楽しみです。

東京農業大学 富士農場 <https://www.nodai.ac.jp/campus/facilities/farm/fuji/>



東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子